

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月12日

事業所名:就労準備型放課後等デイサービス アタッチ・メント

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1		・プログラムに合わせて場面転換を行なっている	
	2 職員の配置数は適切である	2	3	1	・利用人数に合わせて人員配置を行なっている	適時、現場体制の整備を行います。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4	1		危険箇所にカラーテープを貼り、注意喚起を行います。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		・プログラムの立案でPDCA計画書を活用している	振り返り時に、提供プログラムの振り返りを行います。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	5			定期的な面談や個別支援計画調査を通じて、ニーズや課題の把握を行います。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2			自己評価を公表し保護者にお知らせを行います。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4	2		定期的に意見交換を行います。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2		・定例で課題別の研修を行なっている	次年度、計画を立て研修を行います。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	3		・相談支援事業所からの情報を共有し活用している	定期的な面談や個別支援計画調査を通じて、ニーズや課題の把握を行います。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	4		・相談支援計画書をもとにアセスメント、個別支援計画の作成を行なっている	定期的にあセスメントツールを見直しアセスメントを行います。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		・月1回の全体会議で立案を行なっている	定例会議にて、職員合意のもとプログラム計画を行います。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			・週替わりでプログラムを変更することで固定化しないよう工夫している	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	5		・積極的に施設外活動を取り入れている	保護者や児童のニーズに合わせて支援を行います。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	4		・個別の状況に応じ、個別支援計画を作成している	保護者や児童のニーズに合わせて支援を行います。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1		・時間を固定し打ち合わせを行なっている	日々のミーティングで行っていることを継続して行います。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			・翌日の打ち合わせで振り返りを行なっている	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		・業務日誌の記録方法を統一し、記録を行なっている	支援とプログラムの評価・振り返りを行い、検証・改善を行います。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2	4		・定期的に相談支援事業所と情報共有を行なっている	定期的に会議を行い取り組みます。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	4		・引き続き柔軟に行なっていく	固定化しないよう、活動を組み合わせプログラムの計画を行います。	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	5		・児発管が出席している	事業所での支援状況を適切に管理し共有します。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	1	4	1	・学校とは電話等で情報共有をしている	学校との情報共有を適切に行います。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4	1		対象児がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		4	2		対象児がいない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4	2		対象児がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4			今年度はオンライン研修を受講しました。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	1	・施設清掃やプログラミング体験会を実施している	今年度は同一施設内の児童と交流を行いました。引き続き、定期的に活動する機会を作っていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4	1		今年度は協議会が中止のため参加していない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	2		・送迎時やオフィシャルラインを通して情報共有を行っている	引き続き、送迎時や定期的な面談等で情報共有を行います。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4	1		3月末に保護者会にて実施予定です。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	4		・契約時や関係者会議などで支援内容等の説明を行っている	適宜、丁寧に説明を行います。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	1	5			相談を行える環境を作っていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3			3月末に保護者会を実施予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2	4			迅速に事業所で状況を把握し、適切に対応を行います。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			・毎月会報を発刊している	
	35	個人情報に十分注意している	4	1	1	・施錠ロッカーにて保管している	持ち出し表を作り適切に管理します。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	2			状況に応じて適切に対応します。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5	1		次年度から計画行っていきます。
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	5			事業所の玄関等に掲載し、常に閲覧できる状態を作ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	3		・定期的に訓練を行なっている	今年度は実施。次年度は計画中。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1		・定期的に研修を行なっている	適宜、行っていく。

等の 対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	4	1		事業所内で検討のうえ、保護者に適切に説明を行います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			6	・アセスメント時に保護者に確認している	現在、対象児がいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2		・職員会議などで共有検討会を開催している	適宜、行っている。